

食べて応援、作って応援

親子でつくろう!

ベランダ菜園



栽培の難易度

難中 **易**

コンテナの大きさ



ブルーベリー
(ツツジ科)

手軽に楽しめる
フルーツ

簡単につくれる人気のフルーツです。品種は主にハイブッシュ系とラビットアイ系にわかれますが、同じ系統の中から品種違いのものを2株以上育てるようにすると、実のつきがよくなります。他の野菜栽培と違い、酸性の土が必要なので注意しましょう。

ベランダ栽培のポイント

- 1 春植え、秋植えとも、翌年の夏から収穫スタート。
- 2 同系統・別品種を一緒に育てる。
- 3 よく熟したものは黒紫色に。完熟したものから摘み取る。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植えつけ期間												
収穫期間												

植えつけ2年めから収穫

1 スタート 植えつけ

同じ系統で品種の違う2株以上と、土を用意します。pH5.0くらいの酸性の土を好むので、市販のブルーベリー用の土を購入するとよいでしょう。苗よりもふた回りほど大きい鉢に植えつけます。土の多湿を嫌うため、水はけのよい素焼きの鉢がおすすめです。



1. 鉢底石を置く。ネットに包むと扱いやすい。



2. ポットから苗を取り出し、根のまわりについている土を軽くほぐす。



3. 苗を置いてからまわりに土を入れ、浅めに植えつける。その後、たっぷりと水やりする。

日当たりのよい場所に

2 2週間後 追肥

冬は水やりを控え、乾かしぎみに育てます。花が咲き始めたら、毎日水やりを。特に、土が乾燥する夏には午前と夕方、鉢の底から水が流れ出るくらいまでたっぷり水やりをします。2~3年をめぐりにひと回りずつ大きな鉢に植え替えるとよいでしょう。



1. 植えつけから2週間後、ボカシ肥*をひとつかみまく。
※油かすと骨粉を練って発酵・乾燥させた肥料。
2. その後は、春の新芽が伸び出す前、収穫後、冬を迎える前の年3回、同様に追肥する。

3 植えつけ翌年の夏 収穫

春に花が咲き、実をつけ始めた夏に収穫します。黒紫色に熟したものから摘み取りましょう。生食はもちろん、ジャムにしてパンやスイーツに使えるので便利です。また、新鮮なうちに水洗いし、水気をしっかり拭き取って冷凍すると、約6か月保存が可能です。



傷がつくといたみやすいため、果実をつまんで、まっすぐに引き抜く。

お知らせ みんなで農業を応援しよう!

岐阜県JAグループでは、農業をもっと元気にするため、組合員ならびに地域の皆さま方と共に、農業を応援する取り組みを進めています。

作って応援

プランター菜園や家庭菜園に挑戦してみませんか?

食べて応援

地元の農畜産物を知り、購入していっぱい食べましょう。

